

さくら、やまなみバス

4月から本格運行



公智神社

材木の神様が祭られ、「神輿殿」は市の指定文化財になっています。毎年10月の秋祭りでは山口各地区からだんじりが集結し、宮入ります。
下山口停留所すぐ

有馬温泉

有馬温泉停留所すぐ

神戸市北区にある温泉で、全国有数の名湯



金仙寺湖

金仙寺停留所すぐ

別名「丸山貯水池」。四季折々の丸山の姿が湖面に浮かびます。



夙川公園の桜

阪急夙川停留所すぐ

西宮を代表する桜の名所



県立芸術文化センター

大中小3つのホールを備え、音楽・演劇 西宮北口停留所すぐ
・バレエ・オペラなどの芸術を発信

市の山口地域と南部地域を結ぶバスの運行が、いよいよ今年4月から始まります。昨年バスの愛称を募集し、西宮の市花である「さくら」、北部の「やま」、南部の「みなみ」から「さくらやまなみバス」と名付けられました。乗り継ぎなく1本で結ぶバスが西宮のまちに新たな息吹を吹き込みます。

開通に先立ちバスが通る路線沿いの観光名所と、バス誕生にむけて3人からいただいたメッセージを紹介します。

市民の皆さんの身近な交通手段として親しまれ、愛されるバスを目指して走ります。さくらやまなみバスに乗って出かけてみませんか。

さくらやまなみバスってこんなバス

運行ルートは西宮北口と、山口町名来、有馬温泉などを結ぶ「名来・有馬系統」と金仙寺、北六甲台などを結ぶ「北六甲台・金仙寺系統」の2路線。平日は17往復(平成22年4月からは21往復)、土・日曜・祝日は14往復運行予定。ダイヤ・運賃など詳細は決まり次第、本紙等で紹介します。問合せは都市計画グループ(0798・35・3527)へ。



市長からのメッセージ

地元の皆さんの熱心な協力もあり、2007年9月の試験運行を経て、今年4月に「さくらやまなみバス」が本格運行することになりました。山口地域と南部地域を直接結ぶバスの実現は、市内の公共交通をより一層充実させるものであります。バスに乗って人々が行き交うことで、利便性の向上だけでなく、まちに活気をもたらしてくれるものと期待しています。



西宮市長 山田 知

西宮市を南北に結ぶバス「さくらやまなみバス」が本格的に運行されることになったことを、心より喜び申し上げます。

このバスの運行は西宮市北部、あるいは三田方面から通学する学生にとって念願のものでした。宝塚、西宮北口を経由していた従来の通学経路に比べ、半分以下の通学時間となったわけで、これらの地域の学生にとって、無形の学生支援となります。また地方出身者の学生にとっては、このバスを利用して西宮の様々な魅力を知ってもらうことも容易になるでしょう。海の手酒蔵通り、北口の芸術文化センターなど人がはぐくんできた南部地域、そして、豊かな自然が残る、風の音が心地よい山口地域。大都市近郊でありながら、これほど多彩な顔をもつまちも珍しいでしょう。感受性豊かな学生にこそ、この西宮を満喫してほしいものです。



夙川学院短期大学 学生支援課長 大前 都貴子さん

大阪湾と六甲山にはさまれた地域では東西の移動は阪急、JR、阪神の3本の鉄道が、南北間の移動はバスが大きな役割を果たしています。そのバスが今度は六甲山を越えて山口地域まで伸びます。これによって人の行き来が活発になりますし、このことは南と北の文化の風が動くことになるでしょう。安全に、未永く市民に愛されるバスとなることをお祈りしています。

今年は山口地区にとって大変喜ばしい、また将来に夢をもてる年であります。

それは永年の念願でありました「さくらやまなみバス」の本格運行が実現すること、「山口センター」(支所、公民館、図書館分室、保健福祉センター、児童センター、老人いこいの家、多目的ホールなど7つの機能をもった地域行政の拠点)がオープンすることです。

それらの事業には当徳風会も応分の財政的支援をいたしました。「さくらやまなみバス」の運行により約30分で南部地域へ直結できます。通勤、通学はもとより日常生活の中で従来市南部地域と疎遠であった方々もきつと直通乗り換えなしの便利さを実感され、このバスの利用度は高まるものと確信いたしております。これからは、山口地域から南部地域へという一方通行だけではなく、南部の方々にも盤滝トンネルを過ぎるとすぐのところにある山口地域の四季の変化に富んだ自然や古い歴史文化にふれていただき、農業体験など「さくらやまなみバス」が取り持つ交流の仕掛けづくりを考え、全市民的な交流を促進させねばなりません。

「さくらやまなみバス」も「山口センター」も山口地域の活性化はもとより、その機能を活用して旧山口町と新興住宅地の方々との融和を図り、更には六甲山の表と裏がより一層連携し、西宮市全体の発展に寄与することを願うものであります。



財団法人山口町徳風会 理事長 橋本 正昭さん

財団法人山口町徳風会…旧山口村の共有財産を元に、山口町の発展と山口町民の福祉の向上を図るため、昭和35年に財団法人として設立。多くの団体への支援を行うほか、戦没者の慰霊、山林管理、歴史文化の資料展示など様々な活動を展開。

古くは船坂峠越えの道と棚越え新道が山口村、船坂村と西宮大社村を結ぶ道でした。それが盤滝道と盤滝トンネルができたことで、山口町と西宮市南部との距離、時間は短縮され、人と物の交流は盛んになりました。加えて、今年4月から「さくらやまなみバス」が運行されることで人と物だけではなく、文化の交流が始まるのではないかと思います。

その先ぶれとして昨年西宮市民まつりに山口からだんじりが初めて参加しました。私たちは何かを感じ、多くの何かを得ました。

山口には正月の「とんど」に始まり、多くの行事と人々の支えによってはぐくんできた古くからの地域と郊外の新しい住宅地として開発された地域があります。ともにバスの開通に向けて取り組んできたことで、初めてひとつになれたのではないのでしょうか。

「さくらやまなみバス」は通勤、通学はもちろん日々の生活に欠かせない交通手段になると確信しています。山口には夏の有馬川、船坂川の虫をはじめ自然のよさがあり、西宮の南部には多様な商業施設、芸術・文化施設があることをお互いに知り、バスを仲立ちに行き来してもらえればうれしいことです。

最後に「さくらやまなみバス」の開通にかかわっていただきました多くの皆様に厚く御礼を申し上げます。



山口地区自治会 連絡協議会 会長 坂口 文孝さん